

## 《プログラム》

### 【第一部】 博士後期課程に関する説明 40分～50分 水本副学長（教育運営担当）

- 本学の博士後期課程の教育カリキュラムは、どのようになっているのか。
- 本学の博士後期課程学生に対する支援は、どのようになっているのか。
- 博士後期課程の就職状況について、一般的にはネガティブな情報が目につくが、  
本学の博士後期課程の就職状況は、どのようになっているのか。 等々

### 【第二部】 博士後期課程在学学生、社会人による 講演とパネルディスカッション 70分～80分

- 在学生2名、社会人2名による講演
  - 博士に進学した背景・目的
  - どのような博士時代を過ごしたか/過ごしているか（生活のリズム、不安な点や期待など。）
  - 修了後、どのようなキャリアを積んだか
  - 博士の経験がどう活かされているか、これから活かされるか
  - 皆さんに伝えたいこと 等々
- 講演の後、講演者4名によるパネルディスカッションを実施。  
会場からも気になる点を、ご質問ください。

#### （注意）

掲載の情報は、2016年11月時点の情報であり、将来変更となる場合があります。

# 博士後期課程のカリキュラムと修了要件等

博士後期課程に入学・進学した学生は、学院及び系に所属し、選択したコースのカリキュラムを中心に履修し、コースの修了要件を満たして修了します。

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 授業・履修 ≫ [学修案内等一覧](#) ≫ 大学院学修案内及び教授要目

## 1. カリキュラムと修了要件（詳細は、各コースの修了要件参照）

- 600番台の専門科目、講究科目、文系教養科目、キャリア科目を中心に履修。  
≪修了要件≫ **600番台から24単位**を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。  
→ 修了後、学位取得

文系教養科目：2単位

キャリア科目：4単位（指定するGAを満たすこと）

専門科目等：6単位（コースによっては専門科目6単位）

講究科目：12単位（短縮修了者は在学中の単位のみで可）

- 修士課程時に要件を満たせば、600番台専門科目を先んじて学修することができる。（博士進学後に単位が認定される）

## 2. その他

- 学位は、博士（理学）、博士（工学）、博士（学術）。
- 標準修業年限は3年、在学年限は6年。休学は通算3年迄。→最大9年間 可。
- 特に優れた研究業績があれば、博士後期課程を短縮して修了することが可能。但し、大学院課程（修士課程＋博士後期課程）で3年以上の在学期間が必要。（参考：学士課程3年で早期卒業＋大学院課程3年で短縮修了 可能）

リベラルアーツ研究教育院は、  
「学院」が提供する「理工系専門知識」という縦系と、  
「リベラルアーツ研究教育院」が提供する「教養」という横系  
で、東工大生の未来を紡ぎます。

リベラルアーツ研究教育院は21世紀社会の時代的課題を把握し、  
その中での自らの役割を認識する「社会性」、自らを深く探究  
する「人間性」、行動し、挑戦、実現する「創造性」を兼ね備  
え、より良き未来社会を築く「志」のある人材を育成します。

# 博士後期課程学生に必要な教養とは？

世界最高水準の理工系の研究を行うには、自らの専門分野に限定されない幅広い知識、他分野の研究の意義を理解し吸収・活用する応用力や創造性、多様な人材と交流し「知」のネットワークを広げる柔軟性や学際性が必要である。

## 教養先端科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるために、講演会・少人数グループワーク・発表会を経験する。

●ねらいは、履修者が先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、異分野の研究者と協力して、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

## 学生プロデュース科目

●博士後期課程学生に必要な「教養」を身に付けるための「教養先端科目」の内容を自ら設計していく。

具体的には、博士後期課程学生が取り組む「教養先端科目」の包括的なテーマを決定後、専門家に講演を依頼し、授業の運営法、発表会の運営法や広報の方法について検討する。

●ねらいは、履修者が博士後期課程の教養科目を自律的に「設計」することを通じて、先端的・学際的な研究動向に目を向けながら、博士後期課程全体の「知の交流」を促進する場を創造するところにある。

学内の異なる専門分野の学生、留学生とのコミュニケーション能力の確立

リーダーシップ・学際性・コミュニケーション力 を身に付ける。

ポスタープレゼンテーション、ミニシンポジウムの準備開催  
東工大発国際学会の設立を目標にした実践先進的プロジェクト型学習  
各Qに200人の博士後期課程学生が英語でグループワーク（隔週土曜日）  
次回2017年1月21日ミニシンポジウムをぜひ参観してください。

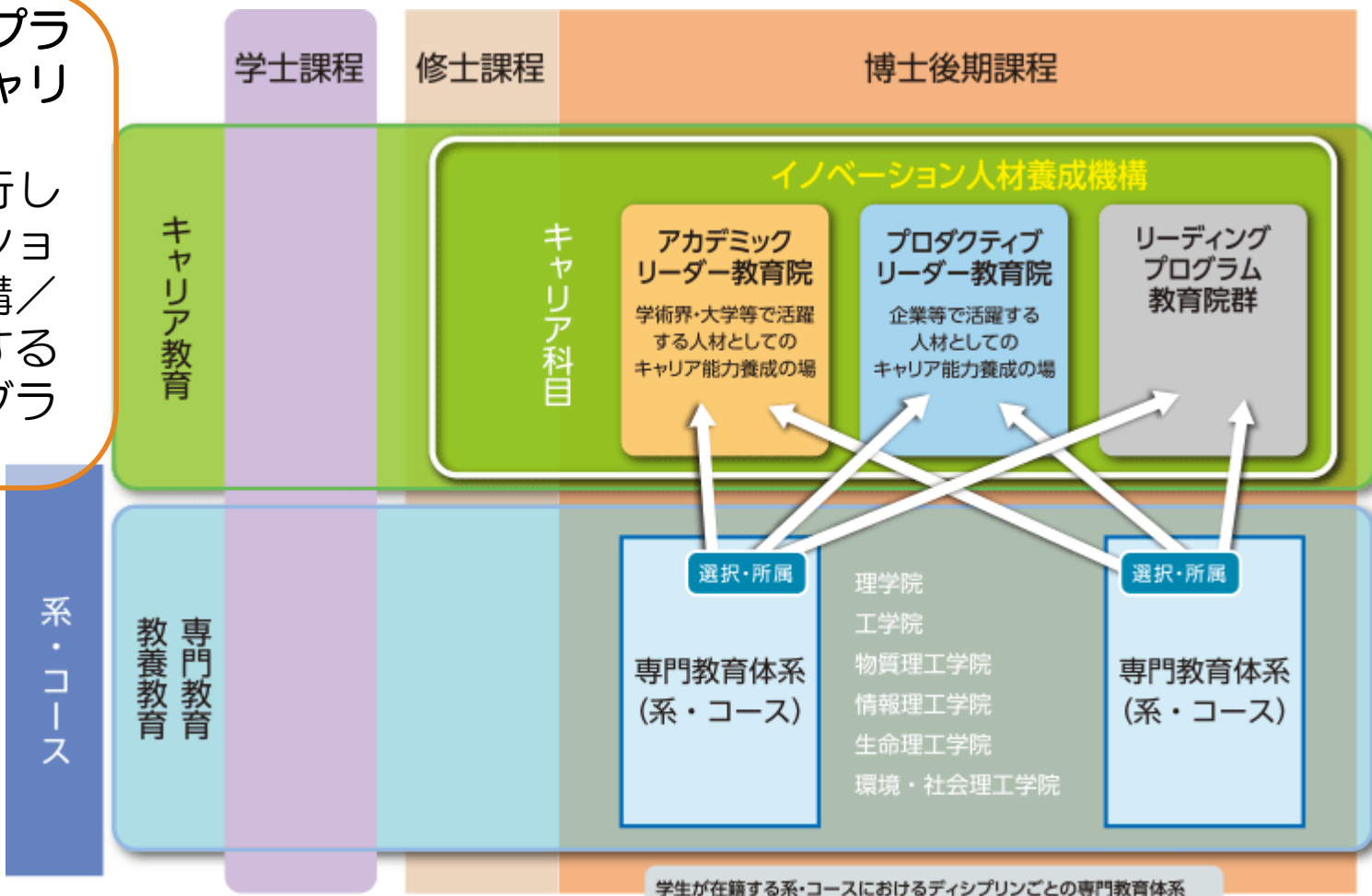
- 【個人画像のため画像削除】  
11月12日第2回TokyoTech  
リベラルアーツミニシンポジウムの様子。
- ポスターセッション
    - 講演会
    - 学生スタッフ
  - 三島学長によるポスター特別賞表彰

東工大で博士の学位を取得する皆さんは、

- 新たな学問領域・研究領域の開拓をリードする、  
+
  - 後継を育成することで社会に貢献する、
  - 科学技術を産業や社会の発展に適切に応用し社会のニーズを的確に捉えて創造をリードする、
- 人材です。その実現のために・・・、

# キャリア能力養成の教育プログラムと 学院の専門教育との関係

学生のキャリアプランに対応したキャリア能力を養成  
 ✓ 専門教育と並行して、イノベーション人材養成機構／コースが用意するキャリアプログラムを履修



学生が在籍する系・コースにおけるディシプリンごとの専門教育体系

- 系・コース教員団によるディシプリンの体系に基づく専門教育
- 様々なキャリアプランを描く学生が混在

# キャリアプログラムがカバーする領域

## 1. キャリアデザイン

持続的なキャリア形成の為のスキル学習、  
アカデミアにおけるキャリア形成、企業従事者のキャリア形成、  
起業家の経験、先輩のロールモデルから学ぶ 他

## 2. 倫理

技術者倫理、研究者倫理、共同研究規範 他

## 3. OJT/インターンシップ

企業インターンシップ、海外研究機関派遣、教授法訓練 他

## 4. リテラシー涵養

Technical Writing, Technical Discussion,  
Scientific Communication 他

## 5. 社会貢献・啓発

研究者・技術者のアウトバンド発信  
後進の指導・育成訓練 他

## + α. 企業交流プロジェクト

ドクターズ キャリア フォーラム  
フュージョンプロジェクト  
東工大博士インターンシップ説明会

注) 修士・博士科目合わせて、28年度はキャリア科目として  
**431講義** (内72科目が英語開講) が提供される予定!



# 対応するGAを修得することで、東工大博士人材を育成する

## アカデミックリーダー教育院（ALP）選択学生に求められる Graduate Attribute

- A0D：自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる
- A1D：現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる
- A2D：社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる
- A3D：教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる

## プロダクティブリーダー教育院（PLP）選択学生に求められる Graduate Attributes

- POD：自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる
- P1D：社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる
- P2D：異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる
- P3D：プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる

# 各GA修得のために用意されたキャリア科目例

A0D: 自らのキャリアプランを明確に描き、アカデミアの分野でその実現に必要な能力を自己修習できる	A1D: 現象の本質を見極め、学問の奥義を究めて、新たな学問領域・研究領域の開拓をリードできる	A2D: 社会における学術の位置づけを理解し、ステークホルダーたる社会の構成員に学術の進展を適切に説明できる	A3D: 教育機関等において、学術に興味を持たせ、新たな学問領域・研究領域の開拓を担う後継を育成できる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士キャリアデザインI</li> <li>・博士キャリアデザインII</li> <li>・Doctoral Career Design III E</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALP研修基礎</li> <li>・ALP発展研修I</li> <li>・ALP発展研修II</li> <li>・ALP発展研修III</li> <li>・ALP発展研修IV</li> <li>・Technical Writing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALP研修I (ティーチング)</li> <li>・ALP研修II (海外研修)</li> <li>・ALP発展研修I</li> <li>・ALP発展研修II</li> <li>・ALP発展研修III</li> <li>・ALP発展研修IV</li> <li>・Technical Discussion</li> <li>・Scientific Communication</li> <li>・Critical Thinking</li> <li>・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALP研修I (ティーチング)</li> <li>・ALP研修II (海外研修)</li> <li>・ALP発展研修I</li> <li>・ALP発展研修II</li> <li>・ALP発展研修III</li> <li>・ALP発展研修IV</li> <li>・Technical Discussion</li> <li>・Scientific Communication</li> <li>・Critical Thinking</li> <li>・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness</li> </ul>
POD: 自らのキャリアプランを明確に描き、産業界等でその実現に必要な能力を自己修習できる	P1D: 社会のニーズを的確に捉えて課題を見出し、将来の科学技術の発展をリードできる	P2D: 異なる専門性・価値観を有するメンバーからなるチームを率いて、社会に新たな価値を生み出すもの・ことを創造できる	P3D: プロジェクトを通して次世代の社会や産業の発展を担う後継を育成できる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・博士キャリアデザインI</li> <li>・博士キャリアデザインII</li> <li>・Doctoral Career Design III E</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル企業の研究開発実践論I</li> <li>・グローバル企業の研究開発実践論II</li> <li>・R&amp;D Activities of Global Companies III</li> <li>・R&amp;D Activities of Global Companies IV</li> <li>・テクノロジーマネジメント実践論</li> <li>・PLP研修基礎</li> <li>・PLP発展研修</li> <li>・Technical Writing</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PLP研修</li> <li>・PLP発展研修</li> <li>・Technical Discussion</li> <li>・Scientific Communication</li> <li>・Critical Thinking</li> <li>・Developing Career Adaptability or Global-Competitiveness</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PLP研修</li> <li>・PLP発展研修</li> <li>・Technical Discussion</li> <li>・Scientific Communication</li> <li>・Critical Thinking</li> <li>・Developing Career Adaptability for Global-Competitiveness</li> </ul>

# 民間企業における学歴別貢献度の評価

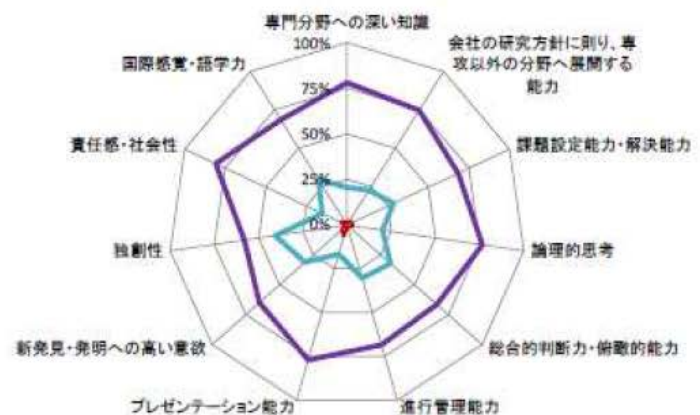
博士の有効性は企業においても研究開発現場では認められている。

学生の採用後の印象

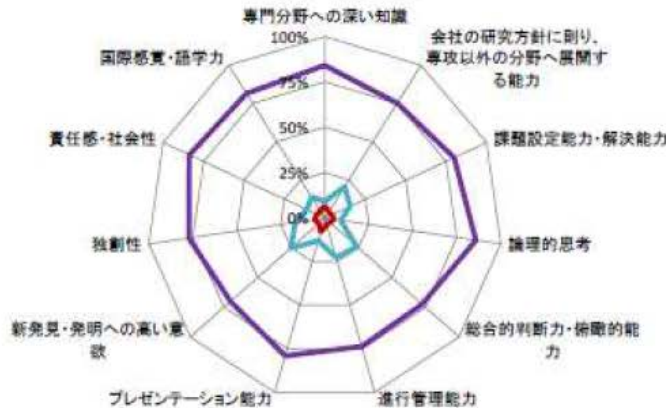
## A. 学士号取得者



## B. 修士号取得者



## C. 博士号取得者



「東工大博士」  
ブランド

期待を上回った (Red)    ほぼ期待通り (Purple)    期待を下回った (Cyan)

- アカデミアに進もうとする場合、博士号保有は前提条件。
- 企業に進む場合にも、有効性が認識されている。
- キャリアの選択肢を広げられる！

# 博士課程教育リーディングプログラムとは？

## 修士・博士を一貫した学位プログラム

「博士課程教育リーディングプログラム」は、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産官学にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導く学位プログラムを構築・展開する大学院を支援する文部科学省の事業です。

国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・官・学の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて修士・博士一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムが構築・展開され、最高学府に相応しい大学院が形成されることを目指しています。



## 養成する能力

「博士課程教育リーディングプログラム」では「広く産官学にわたりグローバルに活躍するリーダーに求められる能力」として、以下の3つを掲げています。

1. 確固たる価値観に基づき、他者と協働しながら、勇気を持ってグローバルに行動する力
2. 自ら課題を発見し、仮説を構築し、持てる知識を駆使し独創的に課題に挑む力
3. 高い専門性や国際性はもとより幅広い知識をもとに物事を俯瞰し本質を見抜く力





## 東工大の取り組み (1/2)

本学では、理工系大学としての強みを活かしつつ、以下の4つの教育院において、前ページの3つの力を併せ持ち、国際社会を牽引できる卓越したリーダーの養成に取り組んでいます。

### グローバルリーダー教育院 (AGL)

<http://www.agl.titech.ac.jp/>

広く産官学界にわたり活躍するグローバルリーダーを育成する東工大の粋を結集した教育院です。

- ✓ 高度な理工学分野の研究実績と産業界との太いパイプを有する東工大の総力を結集し、一橋大学との連携で文理共鳴を強化
- ✓ 専攻における深い専門能力の養成に加えて、学生間の密接な切磋琢磨により俯瞰力・コミュニケーション力・合意形成力を育む「道場教育」、専門能力・人間力を国際的な実社会で試す「オフキャンパス教育」を実施

### 環境エネルギー協創教育院 (ACEEES)

<http://www.eae.titech.ac.jp/ACEEES/>

安全性・持続性(2S)と環境・エネルギー・経済(3E)とのバランスのとれたソリューションを導き出し、イノベーションで世界を動かすリーダーを育成します。

- ✓ 環境とエネルギーの両分野において高度な専門性を有し、時空間的にその形態を変えていく問題を複眼的視点から判断できる俯瞰力、的確かつ迅速な自立的課題抽出・解決力、国際的リーダーシップ力を兼ね備えた2S×3E人材を養成
- ✓ 異分野協創、産官学協創、国際連携協創の三つの協創を特徴とする教育体系

# 博士課程教育リーディングプログラム

## 東工大の取り組み（2/2）

本学では、理工系大学としての強みを活かしつつ、以下の4つの教育院において、前ページの3つの力を併せ持ち、国際社会を牽引できる卓越したリーダーの養成に取り組んでいます。

### 情報生命博士教育院（ACLS）

<http://www.acls.titech.ac.jp/>

生命科学と情報科学の複合分野で  
グローバルに活躍するリーダー人材を養成します。

- ✓ 生命科学または情報科学の専門家としての深い専門と副専門の知識・経験を有する”「型人才”を養成するため、生命系学生と情報系学生が互いに専門性を生かし、協力しながら問題解決に取り組む「グループ型問題解決演習」を実施。
- ✓ グローバルに活躍するリーダー人材を養成するため、独自の異文化コミュニケーション科目群を導入するほか、学生が海外講師や学生と連携して企画運営を行う「国際夏の学校」を実施。

### グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェンツ教育院（U-ATOM）

<http://www.dojo.titech.ac.jp/>

原子力安全・セキュリティ分野の深い専門性に加え、幅広い社会性と強い指導力で世界とわたり合えるグローバルリーダーを養成します。

- ✓ 原子力安全・セキュリティ分野において、高い国際交渉能力を有し、国内外の原子力関連の産官学界で国際的リーダーとして活躍する人材「グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェンツ」を養成
- ✓ 選抜された学生を他の学生と寝食をともにさせ、お互いに切磋琢磨させる全寮制の「世界原子力安全・セキュリティ道場」

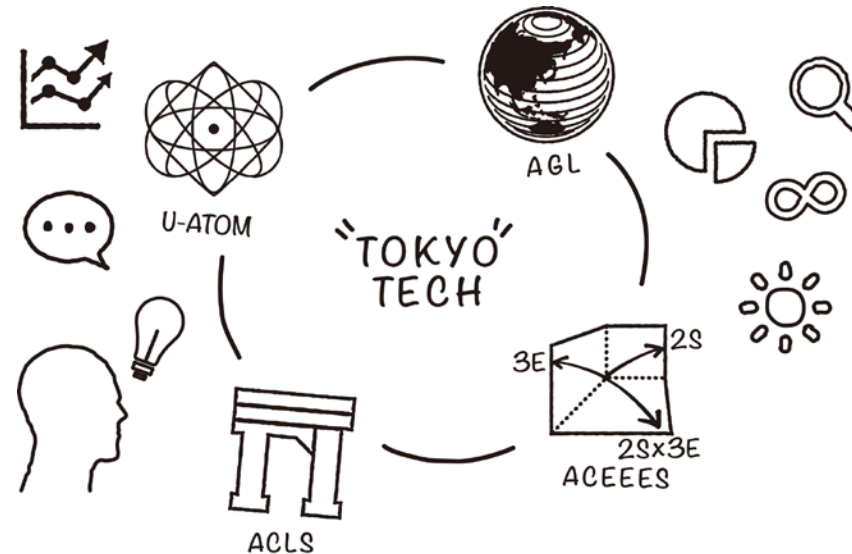
# 東工大のリーディングプログラム

## 4つのプログラムが養成する人材像

いずれも、産業界・国際社会との連携に基づき、イノベーションを牽引する人材を養成します。

- ・ **グローバルリーダー教育院**：国内外の政財産官学界を牽引するリーダー人材
- ・ **環境エネルギー協創教育院**：環境とエネルギーの両分野においてイノベーションを牽引する人材
- ・ **情報生命博士教育院**：創薬、食品、医療機器・診断、健康の分野でイノベーションを牽引する人材
- ・ **グローバル原子力安全・セキュリティ・エージェント教育院**：原子力関連の産官学界で活躍する国際的リーダー人材

時限のプログラムですが、所属した学生が修了するまで、大学が責任を持ってこれらの教育課程を継続します。

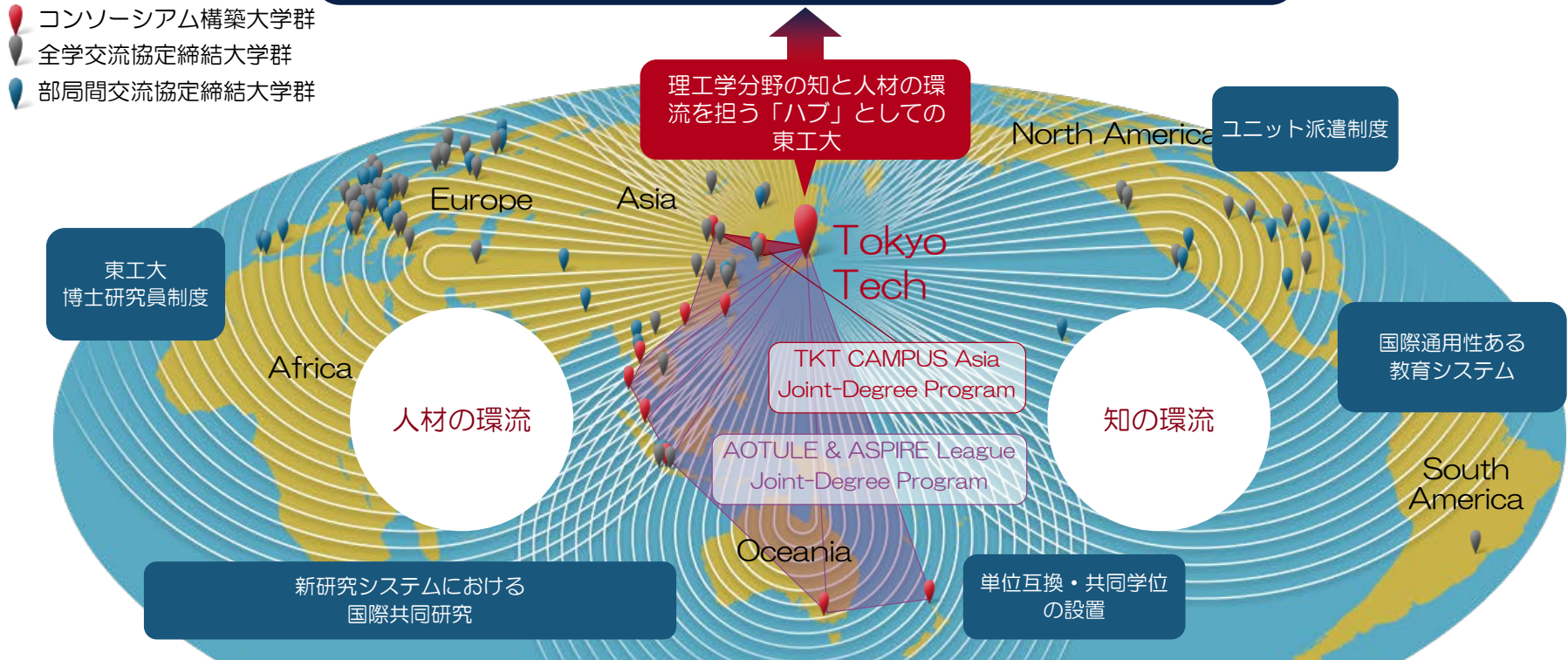


意欲ある皆さんの参加を期待します！！

# 10年後の東工大のイメージ

## Tokyo Tech Quality 本学の誇る教育・研究の質と実

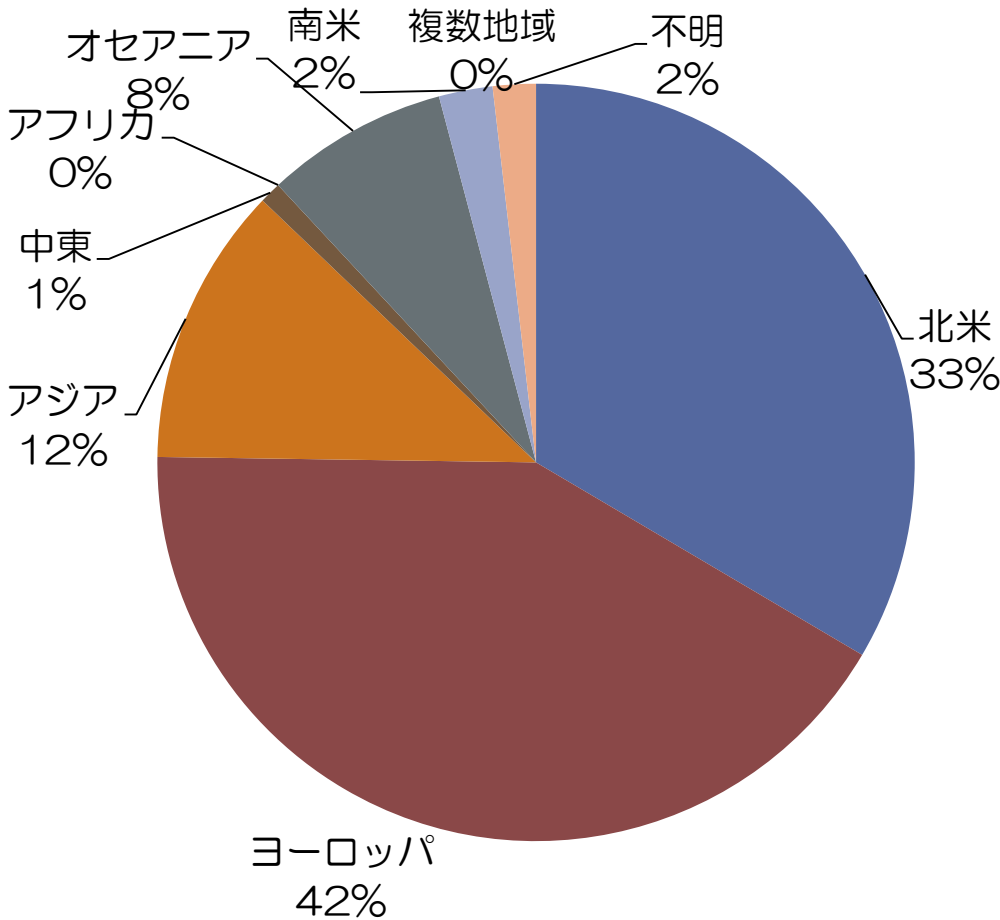
スーパーグローバル大学  
創成支援取組概要



知と人材の環流を通して、  
Tokyo Tech Qualityを世界に浸透させる



## 博士後期課程学生の渡航先別割合



留学先例：

マサチューセッツ工科大学  
ジョンズ・ホプキンス大学  
カリフォルニア大学バークレー校  
アーヘン工科大学  
スイス連邦工科大学チューリヒ校  
南洋理工大学  
清華大学

など

**渡航先：欧米で75%**

**留学期間：半年以上**

**…留学の場合**

**実際には出張扱いの渡航が多い  
例) 学会発表, 共同研究など**

# 留学や学会発表等での渡航に備えて

- 通常授業を活用する

例) 英語スピーキング演習, アカデミックライティング 等

- 学内で英語を話す機会を利用する

例) Think Aloud!, English Caf e 等

- 実際に国外に出てみる

例) 語学研修, 協定校等で実施するサマープログラム, 派遣交換留学 等

カリフォルニア大学バークレー校  
ブリティッシュ・コロンビア大学  
KAIST  
清華大学  
シンガポール国立大学

Website: [東工大トップページ](#) > [国際交流](#) > [東工大から海外への留学](#)



# 経済的支援の概要

## 1. TRA制度

詳細：本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫ 学費・奨学金 ≫ [博士経済的支援](#)

TA(ティーチングアシスタント)、RA(リサーチアシスタント)として研究・教育支援業務を行ったことへの労働の対価として、授業料相当額を得ることができる制度です。

※ 別制度で授業料相当の支援を受けている者等は除く。

## 2. 入学料・授業料の徴収猶予・免除

詳細：本学HPトップ ≫ 大学院で学びたい方 ≫ 学生支援 ≫ [授業料免除・入学料免除](#)

課程	入学料	授業料(半期)	授業料(年間)
博士後期課程	282,000円	267,900円	535,800円

入学料：入学料を半額免除、徴収猶予できる制度です。

- ※ 経済的理由によって納付が困難等の学生が対象。
- ※ 学内進学者は入学料無し。

授業料：授業料の全額か半額を免除、もしくは徴収猶予できる制度です。

- ※ 経済的理由によって納付が困難等の学生が対象。

# 経済的支援の概要

## 3. 奨学金

### (1) 日本学生支援機構 (JASSO)

詳細： 本学HPトップ >> 在学生の方 >> 学費・奨学金 >> [日本学生支援機構奨学金](#)

種類	貸与月額
第一種奨学金（無利子）	8万円、12.2万円から選択
第二種奨学金（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

### (2) 民間財団等奨学金について(日本人学生向け)

詳細： 本学HPトップ >> 在学生の方 >> 学費・奨学金 >> [民間財団等奨学金（日本人学生向け）](#)

地方公共団体での募集，民間の財団等での募集があり、それぞれ貸与型と給与型の奨学金があります。また，給与型の東京工業大学基金奨学金もあります。

### (3) 私費外国人留学生用奨学金

詳細： 本学HPトップ >> 在学生の方 >> 学費・奨学金 >> [留学生向け奨学金](#)

大学の推薦なしで直接申請できる奨学金と、大学からの推薦を必要とする奨学金の2種類があります。

### (4) 東工大基金奨学金『草間秀俊記念奨学金』

詳細： 本学HPトップ >> 在学生の方 >> 学費・奨学金 >> 民間財団等奨学金 >> [東京工業大学基金奨学金](#)

6万円/月の奨学金です。（採用予定2名・博士後期課程3年間・所得条件有）

## 制度の概要

「特別研究員(DC)」の制度は、大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金（月額20万円）を支給する制度です。

また、特別研究員採用者は、科研費（特別研究員奨励費）への応募資格が付与され、原則全員が採用期間中、年間100万円前後の研究費を受給できます。採択率は20～25%程度（昨年は21.8%）です。

対象者・・・採用日(各年4月1日)に大学院博士課程に在学している者  
（予定含む）です。

応募時期・・・採用年度の1年前の3～6月ごろです。

そのため、来年の3月から募集が始まるのは、平成30年度採用分（H30.4.1～採用開始）です。

## 応募区分

### DC1

応募区分は2種類、DC1とDC2です。

基本的に、DC2は応募時に博士課程に入学済みの方、DC1は応募時には博士課程に進学「予定」の方が対象です。

### DC2

つまり、DC1にはM2の時期に応募することがほとんどです。 ※入学時期によっては上記に当てはまらない場合もあります。

DC1とDC2の違いは主に下記の点です。

- ≫ 応募区分 . . . 上記のとおり
- ≫ 審査区分 . . . DC1はDC1、DC2はDC2と競争
- ≫ 採用期間 . . . DC1は3年間、DC2は2年間

研究奨励金の額など待遇に差はありません。

## 研究奨励金

研究奨励金は、特別研究員に採用された方が貰える月々の給与のようなものです。DC1、DC2ともに月額20万円が支給されます。研究奨励金の用途は自由です。

## 特別研究員奨励費

特別研究員奨励費は、特別研究員に採択された方のみが応募できる科研費の一種です。採用期間中、年度ごとに100万円前後の研究費が受給できます。研究のための補助金ですので、自身の研究遂行のためにしか使用できません。特別研究員に採用された方は基本的に全員受給できますが、応募時に提出する研究計画調書の内容を審査され受給額が決定します。

特別研究員(DC)に採用されると、月額20万円の自由に使用できるお金と、年間100万円前後の研究費が受給できます。しかし、特別研究員(DC)は上記以外の報酬や研究費、資金援助の受給が原則的に認められていません。アルバイトや民間助成団体からの研究費受給、奨学金などは採用までに退職・辞退などしなければなりません。



## 採用後の就職状況について

日本学術振興会のWebページに就職状況調査が掲載されています。

[http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd\\_syusyoku.html](http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_syusyoku.html)

《学振の調査結果より》

日本学術振興会特別研究員-DCは、採用期間終了5年経過後調査では、80.5%が「常勤の研究職」に就いており、我が国の研究者の養成・確保の中核的な役割を果たしている。



直近の募集は平成30年度採用分です。

募集要項が未公開ため、例年のスケジュール通りと仮定して掲載します。

H29.3	募集開始（募集要項等の公開）
H29.4月上旬	電子申請システムで申請書受付開始
H29.5下旬	申請書提出の締切
H29.10	一次結果開示（採用内定(面接免除)、面接候補、不採用） →面接候補となった方のみ二次選考（面接）へ
H29.12	二次結果開示（面接候補→採用内定、不採用、補欠）
H30.3	補欠結果開示
H30.4.1	採用開始

東工大では、毎年3月上旬に応募者向けの説明会を開催しています。

応募をお考えの方はぜひご参加ください。

## 東京工業大学 日本学術振興会 特別研究員

[http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps\\_tokken/index.html](http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_tokken/index.html)

## 日本学術振興会

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>



事務局1号館・2号館

## 問い合わせ先

東京工業大学 研究推進部 研究企画課 研究推進グループ

事務室：事務局2号館2階

(大岡山キャンパス本館前・池のある建物、事務局1号館と繋がっています)

※ お越しになる際には学生証を入口受付で提示してください。

メール：[j-fellow@iim.titech.ac.jp](mailto:j-fellow@iim.titech.ac.jp)

TEL：03-5734-3806（内線3806、7221）

# 1 博士後期課程学生の就職（2015/H27年度）

## （1）博士後期課程学生の修了後

2016年11月学生支援課

	人数	割合
企業・大学等への就職	155名	64%
任期付き研究員	79名	33%
一時的な職	7名	
復職	56名	
その他	17名	
未回答	30名	
平成27年度修了生合計	344名	(日本人215名、 留学生129名)

アンケートに回答した学生で「就職を希望する学生」のうち、97%は大学・企業への就職、あるいは任期付き研究員に就くことができている

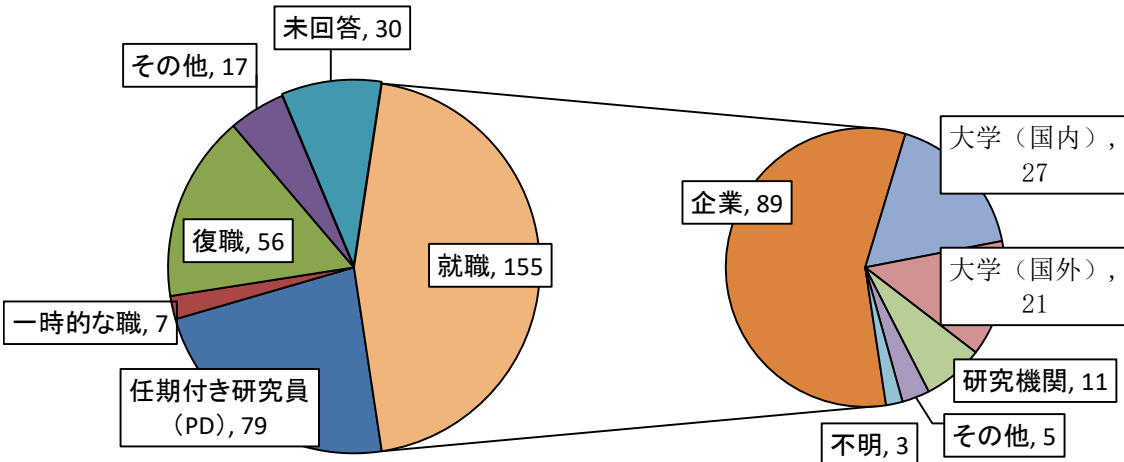
## （2）企業・大学等への就職（155名）の主な就職先（3）任期付き研究員（79名）の主な就職先

就職先	人数	割合
企業	89名	57%
国内外の大学	47名	30%
研究機関	11名	7%

就職先	人数	割合
大学（国内）	51名	65%
研究機関	14名	18%
大学（国外）	10名	13%

# 1-(2) 企業・大学等への就職先 (2015/H27年度)

【企業・大学等への就職の内訳】



就職先	人数
企業・大学就職	155
任期付き研究員 (PD)	79
一時的な職	7
復職	56
その他	17
未回答	30

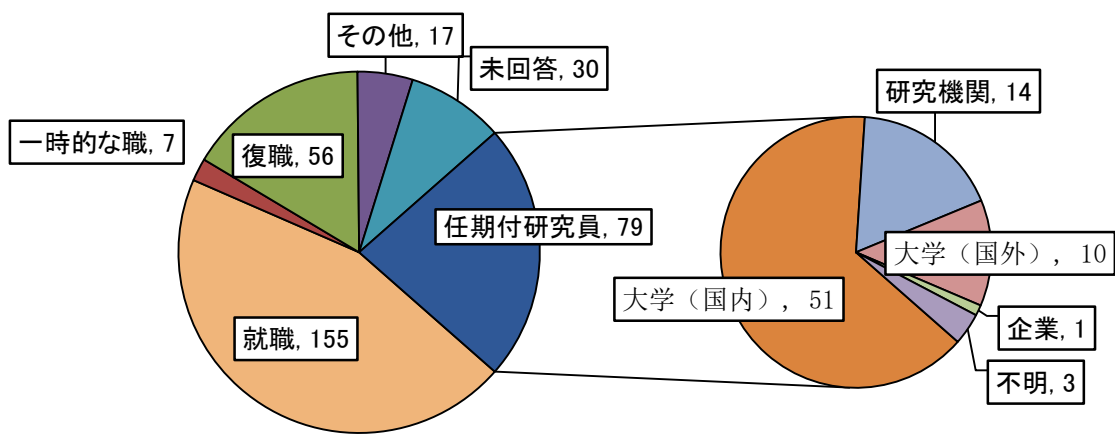
就職先			人数
企業			89
大学	国内	教員	23
		研究者	4
	国外	教員	11
		研究者	10
研究機関			10
不明			3
その他			5

主な就職先(人数)	
企業	
1.	パナソニック (3)
2.	昭和電工、日立製作所、クラレ、三井化学、ファナック、積水化学工業 (2)
3.	その他 1名就職が複数
大学国内	
1.	東京工業大学 (6)
2.	神奈川大学、東北大学、東京理科大学(2)
3.	その他 1名就職が複数
大学国外(すべて1名)	
	SHENZHEN University(中国)
	Burapha University(タイ)
	Nanyang Technological University(シンガポール) 他17
研究機関	
1.	産業技術総合研究所 (2)
2.	医薬品医療機器総合機構、建築研究所 宇宙科学研究所、物質材料研究機構、 理化学研究所、科学技術振興機構、 日本学術振興会、タイ国立電子コンピュータ 技術研究センター(1) 他1

# 1 - (3) 任期付研究員の就職先 (2015/H27年度)

2016年11月学生支援課

【任期付研究員の内訳】



就職先	人数
企業・大学就職	155
任期付き研究員 (PD)	79
一時的な職	7
復職	56
その他	17
未回答	30

就職先	人数
大学 (国内)	51
大学 (国外)	10
研究機関	14
企業	1
不明	3

大学国内 (人数)	
1. 東京工業大学	(28)
2. 東京大学	(5)
3. 京都大学	(3)
4. 北海道大学、東京理科大学	
横浜国立大学、電気通信大学 他11大学	(1)
大学 (国外) 全て1人	
Aalto University (フィンランド)	
Ludwig-maximilians University Munchen (ドイツ)	
Stanford University (アメリカ)	
University of Massachusetts Amherst (アメリカ)	
Toledo University (アメリカ)	
Hawaii University (アメリカ)	
Massachusetts Institute of Technology (アメリカ)	
Michigan State University, MSU (アメリカ)	
Maryland University (アメリカ)	
Uniwersytet Warszawski (ポーランド)	
研究機関 (人数)	
1. 理化学研究所	(4)
2. 海洋研究開発機構	
日本原子力研究開発機構	(2)
3. 物質・材料研究機構	
高エネルギー加速器研究機構	
遺伝学研究所	
ブルックヘブン研究所 (アメリカ)	
宇宙科学研究所	
産業技術総合研究所	(1)

## 2. 博士後期課程学生へのキャリア支援

2016年11月学生支援課

### (1) [進路・就職相談窓口](#)

- キャリアアドバイザールーム
  - ・専任のキャリアアドバイザーが個別相談に応じる
  - ・蔵前工業会所属のくらまえアドバイザーの個人相談も受けられる
- 専攻・系の就職担当教員  
専門に関連した就職を希望するなら、ここが情報の中心となる



### (2) [ガイダンス](#)

- 進路ガイダンス  
東工大生の進路についての説明会（6月～7月）
- 就職ガイダンス  
就職活動の詳細情報を提供する説明会（11月）



### (3) [博士課程学生を採用したい企業とのマッチング](#)

- ドクターズキャリアフォーラム
- フュージョンプロジェクト



### (4) その他

- 博士向けインターンシップ
- 日本学術振興会 特別研究員

## 2 (3) ドクターズキャリアフォーラム

2016年11月学生支援課

①キャリアセミナー（代表10社プレゼンテーション）  
全体プレゼンテーションで、その企業が求める人物像等  
包括的な情報収集ができる。

②個別ブース（直接、企業と交流）

- ・企業における研究活動の実態や業務内容
- ・一般には知られていない有力なビジネス領域等
- ・他では得られにくい採用情報
- ・インターンシップへのきっかけ作りの場 など

12/1（木）大岡山@TTFで開催  
過去最高 35社出展！  
フュージョンプロジェクトも  
同日開催



ロゴはイメージです。（H27年出展企業）

## 2 (3) フュージョンプロジェクト

企業の方を招いて行われるプレゼンテーション

～希望・登録した博士課程学生が招待された企業を独占して、プレゼン～

- ・博士課程学生が、就職やインターンシップ受入れに積極的な企業に対して、ポスターセッションやセルフプレゼンテーションを通じて、究内容だけでなく、自分自身をアピール。
- ・企業研究者や技術者、人事の方との情報交換やディスカッションの場としても活用することができ、実際に“企業の視点”から自身の研究テーマを評価してもらうことで、企業における研究開発との接点を探ることができる。





## 1. 学内からの進学

詳細： 本学HPトップ ≫ 在学生の方 ≫  
学位取得 ≫ [大学院進学関係事務日程](#)

検定料：なし 入学料：なし  
(H29年4月進学の場合)

11月4日：進学願書配布開始

@教務課大学院グループ／

学務課教務グループ窓口

12月2日：進学願書提出締切

12月中旬～2月中旬：進学試験実施

3月中旬：進学者決定

内容は志望先による。  
※外国語試験についても志望先によって異なるため、大学院学修案内を参照のこと。

## 2. 学外からの入学

詳細： 本学HPトップ ≫ 大学院で学びたい方 ≫  
[大学院課程入学案内](#)

検定料：3万円 入学料：28.2万円  
(H29年4月入学の場合)

11月8日：入学願書配布開始

@入試課総務・大学院入試グループ

(窓口又は郵送)

1月17日～19日：入学願書受付期間

2月13日～20日：学力検査実施

内容は志望先による。

- 外国語試験
- 学位論文の試問、  
学力検査及び口頭試問

3月9日：合格者発表